

2025年1月31日
株式会社日本政策金融公庫

持ち直しの動きに足踏みがみられる生活衛生関係営業の景況

生活衛生関係営業の景気動向等調査結果（2024年10～12月期）

（前回）持ち直しの動きに足踏みがみられる生活衛生関係営業の景況

<業況判断DI>（2ページ）

- 業況判断DIは、前期から2.1ポイント低下し、▲7.4となった。
- 来期は5.5ポイント低下し、▲12.9となる見通し。

<売上DI>（3ページ）

- 売上DIは、前期から6.9ポイント低下し、▲2.3となった。
- 来期は1.0ポイント上昇し、▲1.3となる見通し。

<採算DI>（4ページ）

- 採算DIは、前期から3.9ポイント低下し、▲2.8となった。

<経営上の問題点>（9、10ページ）

- 経営上の問題点は、「仕入価格・人件費等の上昇を価格に転嫁困難」が54.7%と最も多く、次いで、「顧客数の減少」（40.3%）、「従業員の確保難」（19.8%）の順となった。

※ 11ページ以降に業種ごとの業況判断理由を掲載しています。そのほか、本調査で収集した「経営取り組み事例」を日本公庫ホームページに掲載しています（https://www.jfc.go.jp/n/findings/seikatu_kekka_m_index.html）。

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 国民生活事業本部 生活衛生融資部 生活衛生情報支援グループ TEL03-3270-1653（担当：和知、青木）
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

【調査の実施要領】

調査時点	2024年12月中旬			
調査方法	郵送調査			
調査対象	生活衛生関係営業 3,290 企業			
有効回答企業数	3,127企業（回答率 95.0%）			
（業種内訳）	飲食業	1,436 企業	映画館	56 企業
	食肉・食鳥肉販売業	154 企業	ホテル・旅館業	177 企業
	氷雪販売業	55 企業	公衆浴場業	109 企業
	理容業	418 企業	クリーニング業	265 企業
	美容業	457 企業		

【本調査における留意事項】

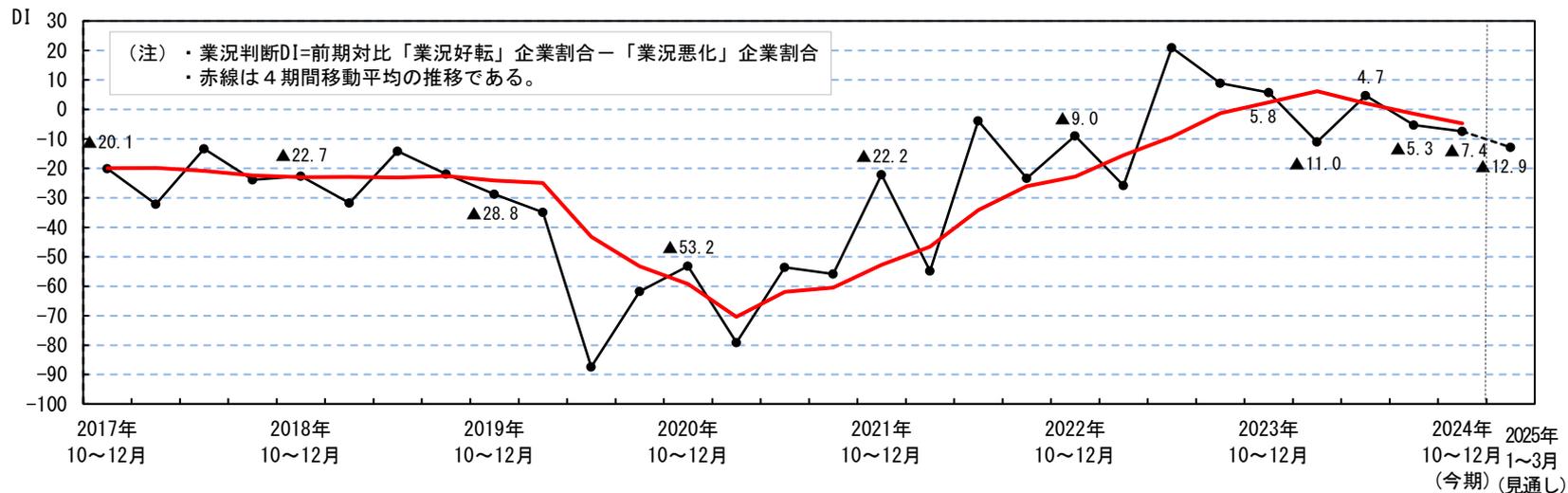
- 比率の算出にあたっては、無回答を除いたものを母数としている。

I 景気の動向

1. 業況判断

- 業況判断DIは、前期から2.1ポイント低下し、▲7.4となった。
- 来期は5.5ポイント低下し、▲12.9となる見通し。

図表1 業況判断DIの推移（全業種計）



図表2 業種別 業況判断DIの推移（飲食業を除く）

凡例	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月 (今期)	2025年 1~3月 (見通し)
食肉・食鳥肉	2.6	▲13.4	0.6	▲12.4	▲0.6	▲9.1
氷雪	▲5.5	▲24.5	19.3	41.1	▲20.0	▲14.5
理容	▲18.1	▲25.5	▲5.2	▲10.4	▲19.6	▲15.1
美容	▲13.5	▲20.5	▲9.3	▲13.0	▲17.9	▲15.8
映画館	▲29.5	▲8.2	▲27.6	0.0	▲58.9	5.4
ホテル・旅館	38.5	▲6.7	27.1	15.6	24.9	▲11.9
公衆浴場	13.4	12.8	▲10.6	▲23.6	▲11.9	▲2.8
クリーニング	9.2	▲39.1	22.2	▲31.4	▲6.4	▲39.2

図表3 飲食業 業況判断DIの推移

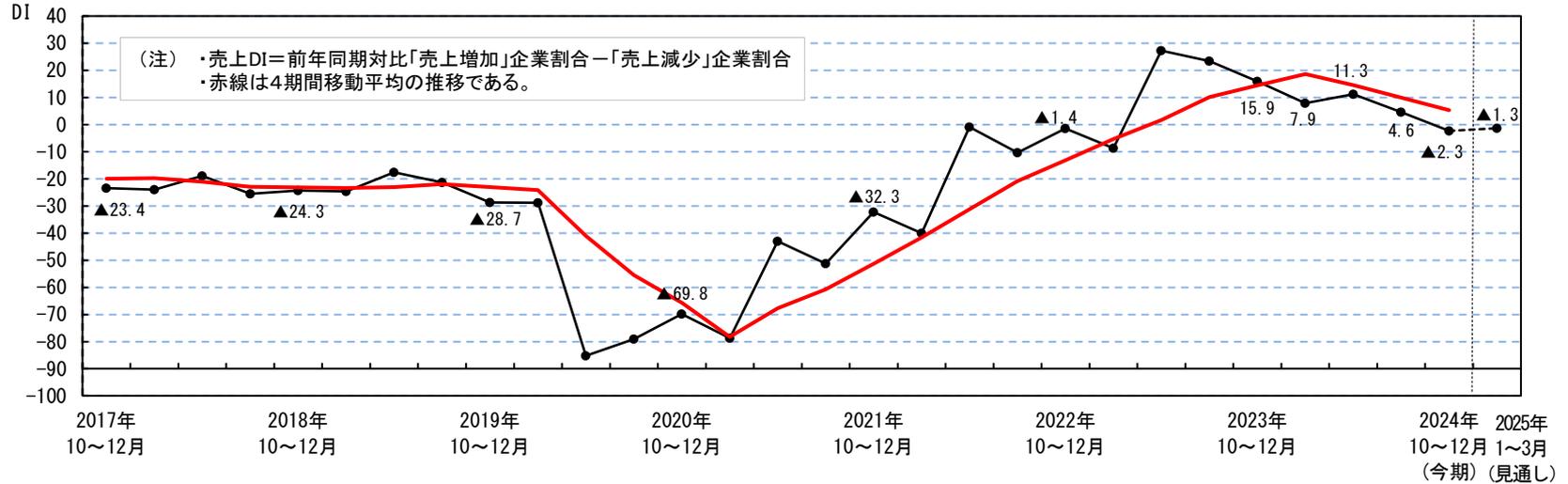
凡例	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月 (今期)	2025年 1~3月 (見通し)
飲食業(全体)	15.9	▲0.1	8.3	1.0	▲2.6	▲8.4
そば・うどん	6.3	▲7.1	16.2	10.4	▲8.4	▲14.6
中華料理	14.5	6.9	8.0	13.6	3.9	▲10.3
すし	13.9	▲11.2	2.7	1.7	▲12.4	▲11.3
料理	42.3	13.1	12.2	▲3.1	9.1	▲8.3
喫茶	11.8	1.3	7.3	▲4.6	0.0	▲9.5
社交	▲5.9	▲5.6	▲4.1	▲12.3	▲13.6	▲11.1
その他飲食	25.5	3.1	11.8	1.3	2.0	▲2.7

※ 表中の網掛けは、全業種計の割合を上回るものを表す(以下同じ)。

2. 売上

- 売上DIは、前期から6.9ポイント低下し、▲2.3となった。
- 来期は1.0ポイント上昇し、▲1.3となる見通し。

図表4 売上DIの推移（全業種計）



図表5 業種別 売上DIの推移（飲食業を除く）

凡例	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月 (今期)	2025年 1~3月 (見通し)
食肉・食鳥肉	13.6	14.7	18.7	7.8	3.2	2.6
氷雪	45.5	▲1.9	14.0	35.7	7.3	▲1.8
理容	▲7.6	▲12.8	▲5.3	▲3.6	▲15.1	▲13.2
美容	▲15.5	▲4.1	▲8.5	▲11.3	▲16.9	▲9.2
映画館	▲19.7	▲16.4	▲17.2	▲15.3	▲46.4	▲3.6
ホテル・旅館	54.3	22.3	37.2	19.4	37.9	18.1
公衆浴場	12.5	26.6	5.8	▲6.6	▲1.8	▲0.9
クリーニング	17.7	▲21.7	11.9	▲2.3	▲18.1	▲16.2

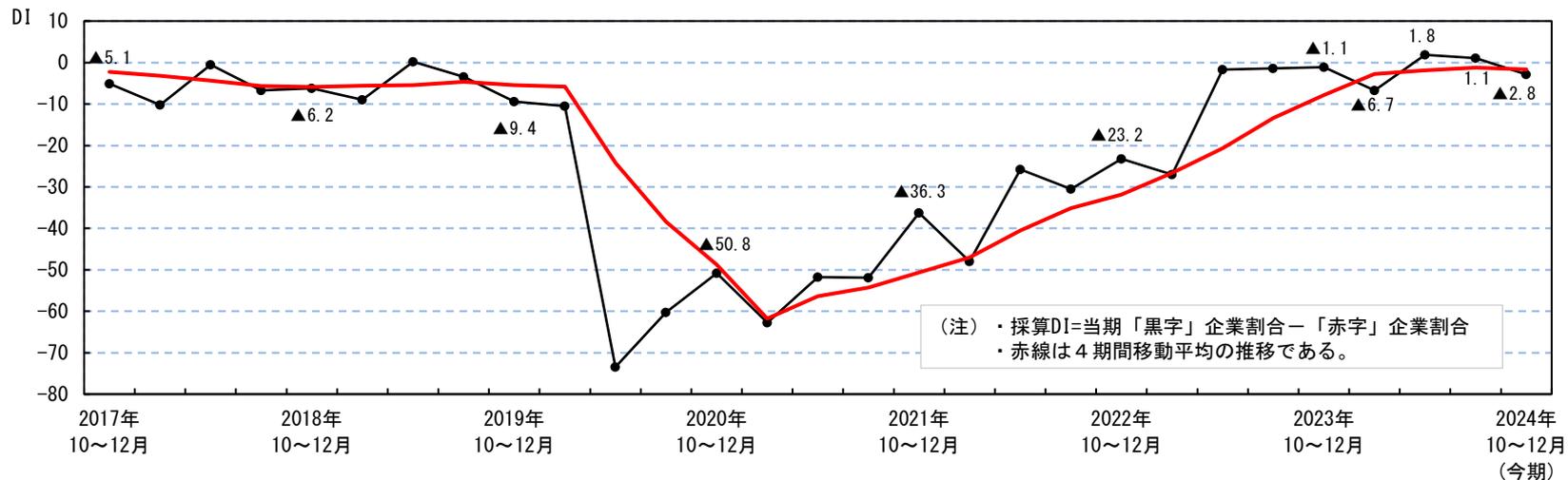
図表6 飲食業 売上DIの推移

凡例	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月 (今期)	2025年 1~3月 (見通し)
飲食業(全体)	28.7	20.7	19.5	11.5	4.8	4.6
そば・うどん	33.0	22.7	24.5	29.1	3.9	▲0.6
中華料理	27.6	26.9	24.8	15.6	11.7	9.7
すし	26.7	5.6	9.3	6.1	▲7.9	▲5.6
料理	48.8	30.3	18.1	4.6	8.4	6.1
喫茶	26.8	21.1	15.4	8.5	2.0	▲4.8
社交	3.0	13.3	6.2	▲0.5	▲12.7	▲4.6
その他飲食	34.9	24.4	27.4	13.5	15.2	15.7

3. 採算

○ 採算DIは、前期から3.9ポイント低下し、▲2.8となった。

図表7 採算DIの推移（全業種計）



図表8 業種別 採算DIの推移（飲食業を除く）

凡例	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月 (今期)
食肉・食鳥肉	11.6	18.5	16.8	11.8	18.2
水 雪	16.4	▲ 32.1	▲ 3.5	28.6	▲ 1.8
理 容	▲ 0.7	0.9	4.3	7.6	3.3
美 容	▲ 8.9	▲ 9.9	▲ 4.6	▲ 5.2	▲ 9.0
映 画 館	▲ 36.1	▲ 31.1	▲ 13.8	▲ 25.4	▲ 42.9
ホテル・旅館	22.4	▲ 10.6	12.7	10.6	18.1
公衆浴場	4.5	14.7	2.9	5.7	1.8
クリーニング	0.8	▲ 27.1	14.9	▲ 5.4	▲ 4.9

図表9 飲食業 採算DIの推移

凡例	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月 (今期)
飲食業(全体)	▲ 2.8	▲ 6.2	▲ 1.4	▲ 0.3	▲ 6.0
そば・うどん	4.7	▲ 2.7	2.2	19.1	▲ 0.6
中華料理	2.6	▲ 6.2	10.7	11.0	3.2
す し	▲ 8.3	▲ 10.7	▲ 7.1	1.7	▲ 10.2
料 理	2.4	▲ 2.5	▲ 5.0	▲ 11.5	▲ 7.6
喫 茶	▲ 13.7	▲ 12.5	▲ 3.3	▲ 10.5	▲ 12.2
社 交	▲ 26.2	▲ 17.3	▲ 14.8	▲ 18.5	▲ 24.2
その他飲食	7.2	0.2	3.1	1.6	0.9

4. 利用客数

○ 利用客数DIは、前期から6.5ポイント低下し、▲15.1となった。

図表10 利用客数DIの推移（全業種計）



図表11 業種別 利用客数DIの推移（飲食業を除く）

凡例	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月 (今期)
食肉・食鳥肉	▲ 5.8	▲ 7.7	▲ 1.3	▲ 17.0	▲ 9.7
水 雪	12.7	▲ 20.8	▲ 1.8	14.3	0.0
理 容	▲ 25.8	▲ 22.7	▲ 15.8	▲ 15.0	▲ 28.3
美 容	▲ 30.1	▲ 25.8	▲ 24.5	▲ 24.6	▲ 33.2
映 画 館	▲ 19.7	▲ 18.0	▲ 34.5	▲ 15.3	▲ 50.0
ホテル・旅館	38.7	5.6	21.1	1.7	18.6
公衆浴場	3.6	8.3	▲ 1.0	▲ 17.9	▲ 8.3
クリーニング	▲ 7.3	▲ 36.8	▲ 5.4	▲ 19.9	▲ 31.3

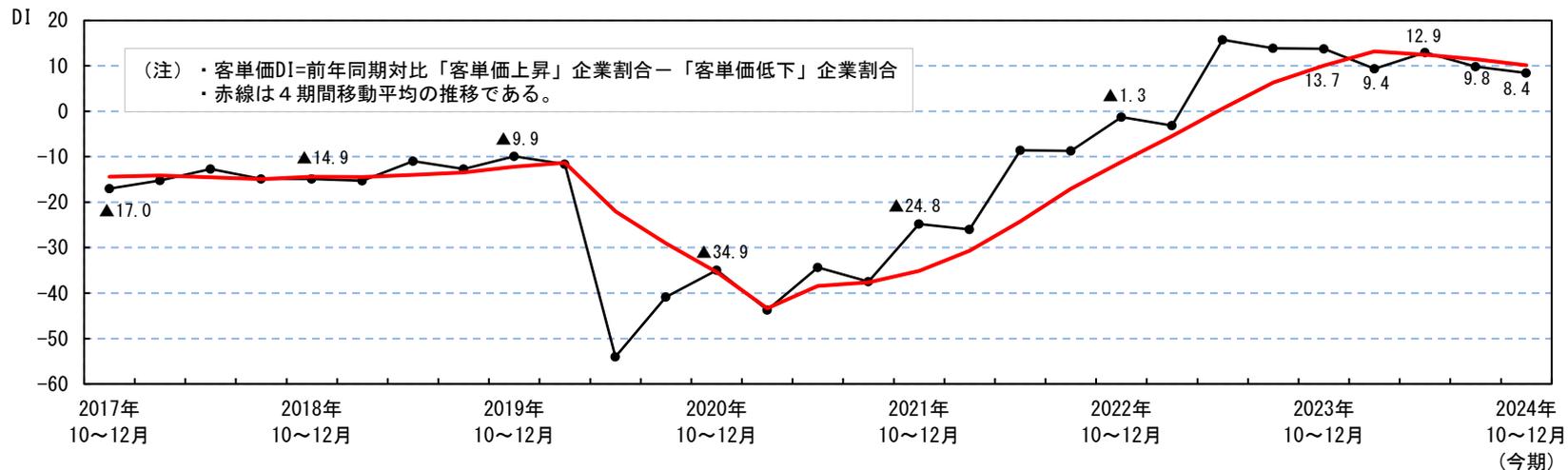
図表12 飲食業 利用客数DIの推移

凡例	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月 (今期)
飲食業(全体)	18.5	5.9	7.0	0.1	▲ 6.9
そば・うどん	15.7	4.4	16.3	12.1	▲ 12.9
中華料理	19.7	12.4	11.4	9.7	0.6
す し	13.3	▲ 8.4	▲ 1.1	▲ 7.8	▲ 16.9
料 理	37.4	13.1	7.2	▲ 5.4	▲ 6.1
喫 茶	10.5	▲ 2.0	2.0	▲ 11.1	▲ 15.0
社 交	▲ 3.0	▲ 1.0	▲ 3.1	▲ 9.2	▲ 20.3
その他飲食	28.8	13.9	11.0	4.5	5.2

5. 客単価

○ 客単価DIは、前期から1.4ポイント低下し、8.4となった。

図表13 客単価DIの推移（全業種計）



図表14 業種別 客単価DIの推移（飲食業を除く）

凡例	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月 (今期)
食肉・食鳥肉	1.3	4.5	1.9	▲9.2	▲5.2
水雪	18.2	▲1.9	▲1.8	12.5	3.6
理容	▲0.7	▲2.6	1.9	0.5	▲1.0
美容	1.3	1.5	▲2.0	▲2.4	▲3.5
映画館	24.6	24.6	22.4	5.1	1.8
ホテル・旅館	53.2	36.9	48.3	42.8	57.6
公衆浴場	19.6	19.3	6.7	▲0.9	7.3
クリーニング	▲0.4	▲15.1	10.7	▲6.5	▲16.2

図表15 飲食業 客単価DIの推移

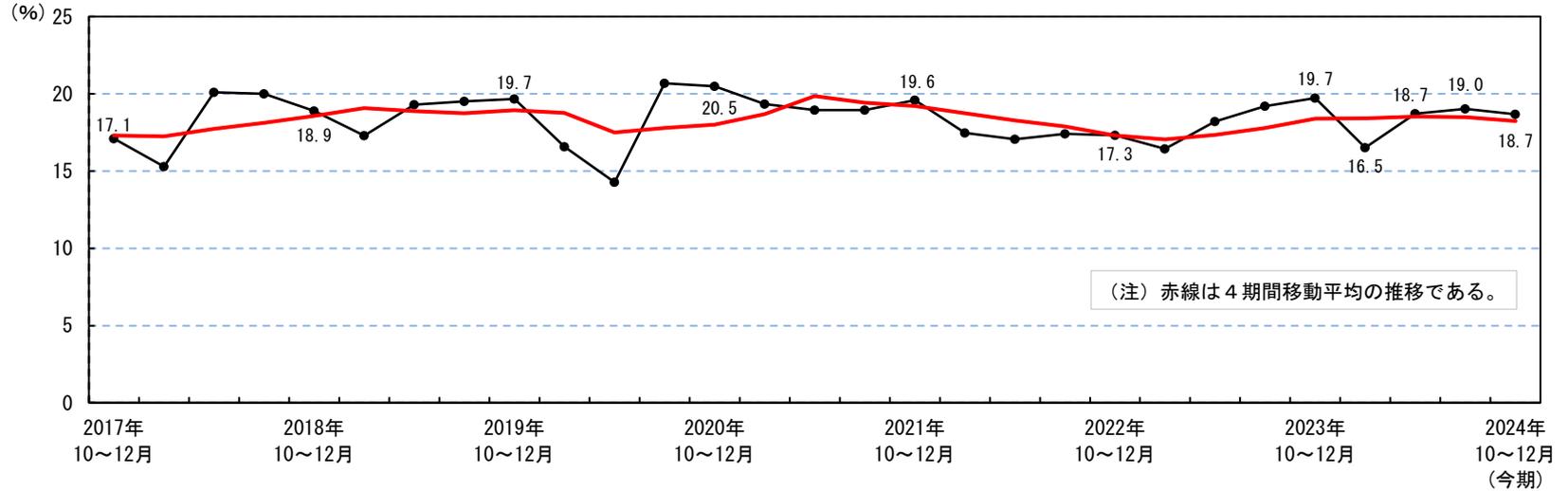
凡例	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月 (今期)
飲食業(全体)	19.9	16.0	18.6	18.2	15.5
そば・うどん	29.8	24.9	23.4	29.7	20.8
中華料理	21.1	6.9	24.2	23.4	19.5
すし	16.1	9.6	17.0	13.3	13.0
料理	37.4	29.5	26.1	16.9	23.7
喫茶	19.0	16.4	16.1	16.3	12.9
社交	▲6.0	3.1	2.6	11.8	▲1.0
その他飲食	24.0	19.7	20.8	17.5	18.6

II 設備投資の動向

1. 設備投資の実施状況

○ 今期（2024年10～12月）に設備投資を行った企業の割合は、前期から0.3ポイント低下し、18.7%となった。

図表16 設備投資実施割合の推移（全業種計）



図表17 業種別 設備投資実施割合の推移（飲食業を除く）

凡例	2023年 10～12月	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月 (今期)
食肉・食鳥肉	34.2	29.3	31.6	32.0	35.7
氷雪	10.9	7.5	17.5	10.7	12.7
理容	9.3	8.5	12.4	12.6	10.8
美容	14.8	10.8	11.3	9.8	9.4
映画館	36.1	34.4	32.8	28.8	26.8
ホテル・旅館	48.3	46.7	49.2	49.4	49.2
公衆浴場	40.2	37.6	44.2	41.5	36.7
クリーニング	18.1	14.7	16.1	17.2	21.5

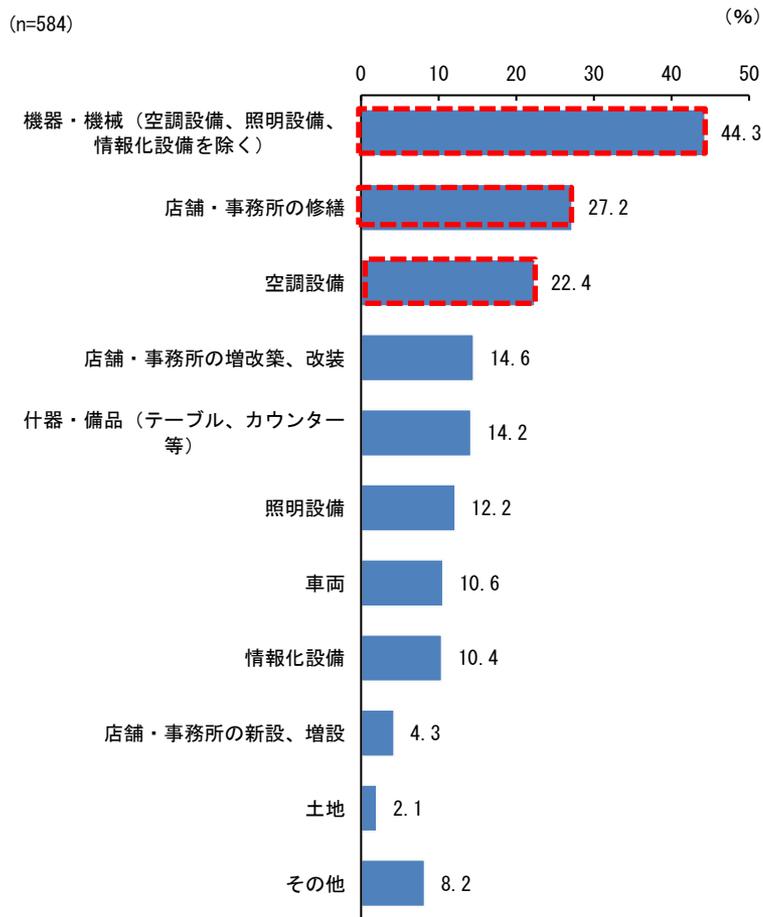
図表18 飲食業 設備投資実施割合の推移

凡例	2023年 10～12月	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月 (今期)
飲食業(全体)	17.7	13.8	15.9	17.3	16.4
そば・うどん	17.7	16.5	17.3	18.6	18.5
中華料理	16.4	10.3	16.7	18.2	15.5
すし	19.4	12.4	19.2	18.9	18.6
料理	26.0	19.7	21.6	23.8	24.2
喫茶	12.4	11.8	12.0	17.0	9.5
社交	11.9	9.7	7.1	7.2	9.1
その他飲食	19.6	15.2	17.0	18.5	18.0

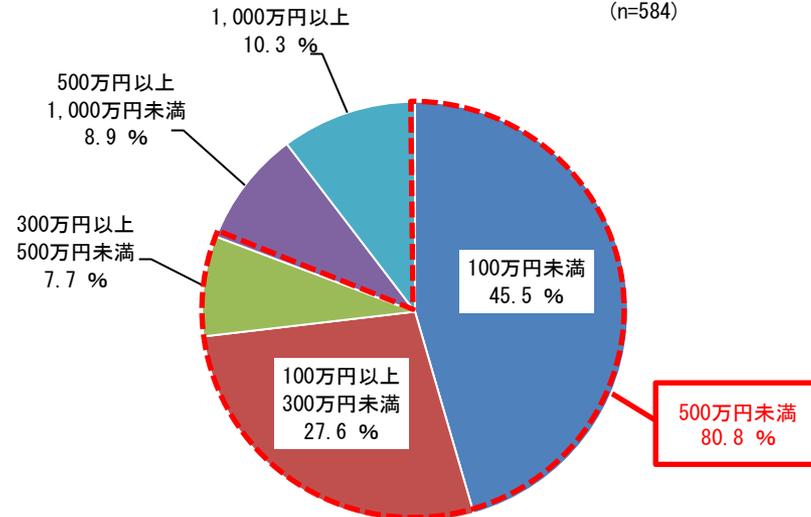
2. 設備投資の内容、設備投資金額、来期の設備投資計画

- 今期（2024年10～12月）の設備投資の内容は、「機器・機械（空調設備、照明設備、情報化設備を除く）」が44.3%と最も多く、次いで、「店舗・事務所の修繕」（27.2%）、「空調設備」（22.4%）の順となった。
- 今期の設備投資金額は、500万円未満が全体の8割超を占めた。
- 来期（2025年1～3月）の設備投資計画については、「実施予定あり」が12.3%となった。

図表19 設備投資の内容
(全業種計、複数回答(金額の大きい順に3つ以内))



図表20 設備投資金額（全業種計）
(n=584)



図表21 業種別 来期の設備投資実施予定割合
(飲食業を除く) (%)

凡例	2025年 1～3月期の予定 (%)
全業種計	12.3
食肉・食鳥肉	22.7
氷雪	12.7
理容	6.2
美容	7.2
映画館	35.7
ホテル・旅館	35.0
公衆浴場	22.0
クリーニング	12.8

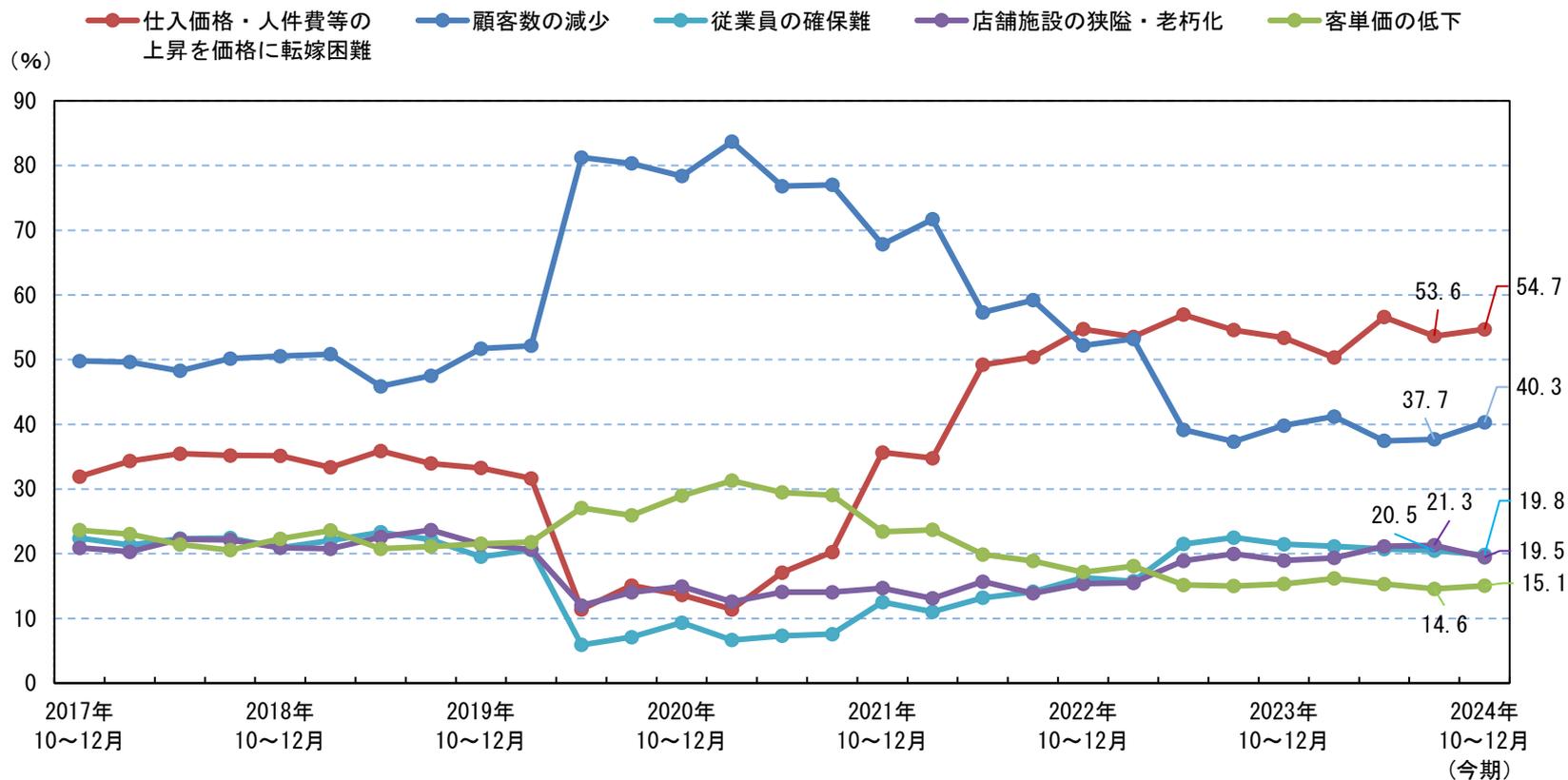
図表22 飲食業 来期の設備投資実施予定割合
(%)

凡例	2025年 1～3月期の予定 (%)
飲食業(全体)	10.0
そば・うどん	12.4
中華料理	9.7
すし	8.5
料理	15.2
喫茶	6.8
社交	7.6
その他飲食	10.5

Ⅲ 経営上の問題点

○ 経営上の問題点は、「仕入価格・人件費等の上昇を価格に転嫁困難」が54.7%と最も多く、次いで、「顧客数の減少」(40.3%)、「従業員の確保難」(19.8%)の順となった。

図表23 主な経営上の問題点の推移（全業種計、複数回答（2つ以内））



図表24 業種別 主な経営上の問題点（2024年10～12月）

(%)

項目	仕入価格・人件費等の上昇を価格に転嫁困難	顧客数の減少	従業員の確保難	店舗施設の狭隘・老朽化	客単価の低下	後継者難	事業資金借入難	その他	特に問題なし
全業種計	54.7	40.3	19.8	19.5	15.1	5.8	2.8	3.7	8.1
飲食業(全体)	70.1	34.8	23.8	15.0	11.2	5.6	3.4	2.9	5.7
そば・うどん	72.5	25.3	29.2	22.5	9.0	6.7	2.2	2.2	5.1
中華料理	73.5	25.8	14.2	20.0	11.0	8.4	3.2	4.5	7.1
すし	64.4	37.9	19.2	11.3	13.0	9.0	2.3	4.0	7.3
料理	70.5	33.3	31.8	21.2	5.3	3.8	6.1	0.8	3.8
喫茶	83.0	36.7	17.0	12.9	6.8	3.4	2.0	3.4	3.4
社交	53.5	60.6	21.2	4.5	17.2	2.0	4.0	3.5	6.1
その他飲食	73.1	29.0	27.8	15.4	12.0	5.6	3.8	2.4	6.0
食肉・食鳥肉	63.0	25.3	23.4	22.7	24.0	4.5	1.9	0.0	6.5
氷雪	40.0	34.5	14.5	16.4	16.4	14.5	3.6	3.6	14.5
理容	32.8	50.2	10.8	16.5	18.2	5.3	1.0	5.5	17.0
美容	32.4	56.0	13.8	13.3	21.9	5.5	3.7	5.5	11.6
映画館	42.9	66.1	8.9	41.1	7.1	3.6	5.4	3.6	0.0
ホテル・旅館	53.1	15.3	46.9	41.8	3.4	7.3	2.8	2.3	3.4
公衆浴場	42.2	36.7	5.5	54.1	6.4	14.7	1.8	4.6	7.3
クリーニング	51.3	49.8	12.1	23.8	26.8	3.0	1.5	4.9	5.3

(注) 複数回答（2つ以内）のため合計は100を超える。

Ⅳ 業況判断理由

今期：2024年10～12月 来期：2025年1～3月

(1) そば・うどん

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	静岡県	売上は増加したが、原材料費や人件費の高騰により利益が増えておらず、業況は横ばいである。
	悪化	神奈川県	物価高騰の影響で消費者の財布の紐が固くなり、売上が減少し業況が悪化した。
来期	不変	北海道	観光客の増加など好転要因はあるものの、原材料費の高騰が見込まれるため、現状維持と判断した。
	悪化	群馬県	仕入価格や人件費の継続的な上昇が見込まれるが、価格転嫁が難しいため、利益が圧迫されるだろう。

(2) 中華料理

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	大阪府	物価上昇に伴い価格改定を行ったが、町中華のブームが続いているようで、売上は伸びている。
	悪化	埼玉県	従業員の確保ができず、やむなく時短営業をしているため、売上が減少した。
来期	不変	徳島県	原材料費の高騰は今後も続くとみられるため、今以上に業況が回復することは見込めない。
	悪化	鹿児島県	仕入価格等の高騰がこのまま続けば思い切った値上げを考えざるを得ない状況だが、客離れが不安

(3) すし

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	愛媛県	今期は忘年会シーズンで、団体客の来店機会が増えたことから、売上増加に繋がった。
	悪化	新潟県	社員が退職し、あらゆる媒体に求人を出しているが応募がない。人手が足りず、予約が重なった場合に断らざるを得ないことがある。
来期	不変	静岡県	食材のロスを減らす工夫をしているものの、仕入価格の高騰が続いているため、現状維持が精一杯
	悪化	神奈川県	人件費や仕入価格などすべてが高騰しており、売上でカバーできない状況。業況回復の見通しが立たない。

(4) 料理

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	大分県	観光客の来店が増えている。複数人での会食が増加傾向にあり、予約も順調に入っている。
	悪化	島根県	人件費が増加している上に原材料費も高騰しているが、すぐに価格転嫁はできず、業況が悪化した。
来期	不変	千葉県	価格転嫁を行ったため売上は増加しているが、仕入価格も高騰しているので楽観視はできない。
	悪化	福井県	物価の高騰についていけないため、業況は悪化するだろう。

(5) 喫茶

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	愛媛県	インバウンドの増加に加え、価格改定を行ったことで業況は好転した。
	悪化	宮崎県	仕入価格が高騰しているが、客数減少の不安もあり値上げに踏み切れない。
来期	不変	福岡県	売上が増加しても、仕入価格の高騰が上回るような状況が続くだろう。
	悪化	富山県	原材料費や人件費の上昇で、価格転嫁が間に合わない。

(6) 社交

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	栃木県	前年に従業員を減らして減益を補った。今いる従業者数に見合った経営をしている。
	悪化	沖縄県	お客さまの来店はあるものの、滞在時間が短くなっており、売上が上がらない。
来期	不変	岐阜県	原材料費の高騰に歯止めがかからないが、消費者に価格転嫁を理解してもらえるか不安
	悪化	滋賀県	人手不足により営業日数を減らしており、業況は悪化している。

(7) その他飲食

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	高知県	市街地に人流が戻り、飲食需要が回復していることから、好転と判断した。
	不変	三重県	物価高騰やインフルエンザの流行により、思っていたほど業況は好転せず、不変である。
来期	好転	山梨県	インバウンドが好調であり、今後も売上増加につながると考えている。
	悪化	兵庫県	仕入価格の高騰、光熱費の上昇により利益率が減少しており、改善が見込めない。

(8) 食肉

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	茨城県	値上げが顧客に受け入れられ、客単価が上昇した。
	悪化	山梨県	物価高騰の影響で高価格帯商品の売上が低迷し、売上は悪化している。
来期	不変	大阪府	新しい取引先が増える見通しはないので、業況は変わらないだろう。
	悪化	静岡県	これ以上の価格転嫁は難しいため、来期の業況は厳しいと考えている。

(9) 食鳥肉

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	京都府	インバウンドの需要が好調なため、売上が増加している。
	悪化	東京都	消費者の節約志向が顕著となり売上が減少していることに加え、人件費を中心に経費が増加しており、利益を圧迫している。
来期	不変	愛知県	値上げはしたものの経費等の高騰が続いており、先行きは不透明
	悪化	香川県	仕入価格や人件費の上昇の影響で、大きく悪化する見通し

(10) 氷雪

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	福井県	今期は気温が高い日が多かったため、各種イベント等での氷の需要が高かった。
	悪化	大阪府	正社員の退職やアルバイトが定着しないなど、人材確保に苦労している。
来期	不変	東京都	来期も業況はそう変わらないだろうが、エネルギー価格が上昇し、経費や仕入価格の高騰につながるのではないかと不安がある。
	悪化	神奈川県	人手不足の傾向が強まり、売上増加の機会を捉えきれないことに加え、経費の高騰もあり悪化する見通し

(11) 理容

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	静岡県	固定客の高齢化により来店サイクルが長期化していることに加え、若年層の新規開拓が難しく現状維持がやっとの状況
	悪化	福井県	物価高騰の影響で消費者の節約志向が強まり、来店頻度が低下している。
来期	不変	愛媛県	原材料費や人件費の上昇に対応するため価格を改定した。今のところ来客数等に影響はでていない。
	悪化	岐阜県	来期は物価高騰による影響に加え、気温が低下することから来店頻度は落ちるだろう。

(12) 美容

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	北海道	少しずつだが消費意欲は改善しており、外出の機会も増えて美容の需要が増加している。
	悪化	新潟県	物価高騰により節約志向が強まっており、パーマを控えてカットのみといった客も増えたことから、客単価が下がり、売上も減少した。
来期	好転	島根県	来期は成人式を控えており、予約も好調なことから今期より更に好転する見込み
	悪化	長野県	出費を抑える傾向が強まるなかで、美容に関する優先順位が低くなっている。

(13) 映画館

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	悪化	福井県	人件費は増加する一方、集客力のある作品が乏しく、利益が確保できない。
	悪化	高知県	ハリウッドでのストライキの影響から、今期の洋画公開本数が激減している。邦画やアニメでカバーしているが、総合的に業況は悪化したと判断する。
来期	好転	北海道	来期は複数の話題作の上映が予定されており、今期に比べて観客動員は好転するだろう。
	不変	神奈川県	集客が期待できる作品の公開を控えているため売上の回復が見込まれるが、物価高騰による影響も看過できない。

(14) ホテル・旅館

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	宮城県	週末を中心に個人客が増加し、団体客も徐々に回復している。インバウンドも増加基調で客単価も上昇し、業況は好転している。
	悪化	秋田県	売上は回復傾向にあるもののコロナ禍前には戻っていない。原材料、特に米の値上がりが経営を圧迫している。
来期	好転	大阪府	円安の影響でインバウンドが増加傾向にある。
	悪化	和歌山県	従業員の退職により今まで同様の客数に対応できず、予約の段階で制限をかけている状況

(15) 公衆浴場

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	不変	神奈川県	夏が多く昼間は客足が遠のいたが、サウナブームによりトータルでの客数は確保できたため、業況は変わらない。
	悪化	岐阜県	天候不順等の影響で、高齢者層の来客数が減少している。また、設備の老朽化により、修理費がかさんでいる。
来期	不変	大阪府	来期は本格的に寒くなるため、来客数の増加が見込める。
	悪化	京都府	物価高や設備維持費の高騰に加え人件費も上昇しており、先行きに不安を感じている。

(16) クリーニング

時期	業況	都道府県	判断理由
今期	好転	山梨県	外出する人の増加と衣替えのクリーニング需要が重なり、業況は好転した。
	悪化	宮城県	衣替えシーズンだが、物価高騰が続いているなか消費者の節約志向が高まり、クリーニングを控える動きがある。
来期	不変	大阪府	来期は閑散期だが、ユニフォームなど法人のクリーニング需要が見込めるため、業況に変化はないだろう。
	悪化	愛媛県	閑散期に入るうえに物価高騰により消費者の節約志向が高まっており、見通しは良くない。